

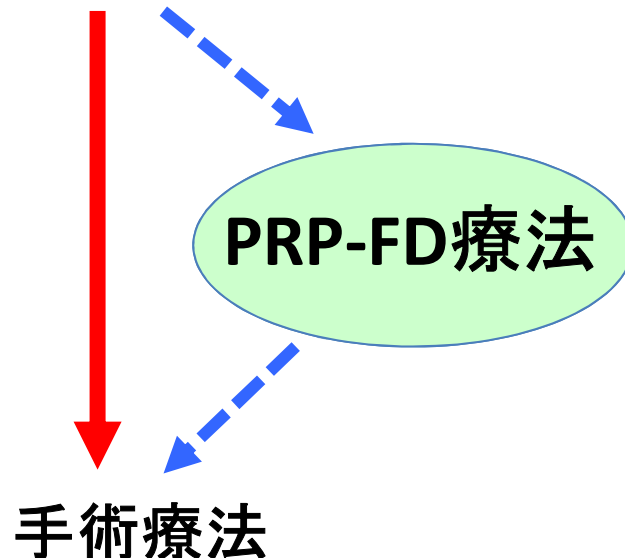
新世代PRP-FreezeDry (FD) 療法

～ 関節が痛いあなたに～

PRP: Platelet Rich Plasma (多血小板血漿) 療法は患者さん自身の血液のうち、血小板が多く含まれる部分を抽出し、**いたんだ関節などに注射**して治癒を促す方法です。アメリカやヨーロッパなどでは10年以上前から行われており、副作用の少ない治療法です。

PRP-FD療法の位置づけ

保存療法 (薬やリハビリなど)



変形性膝関節症

って言われたけど...

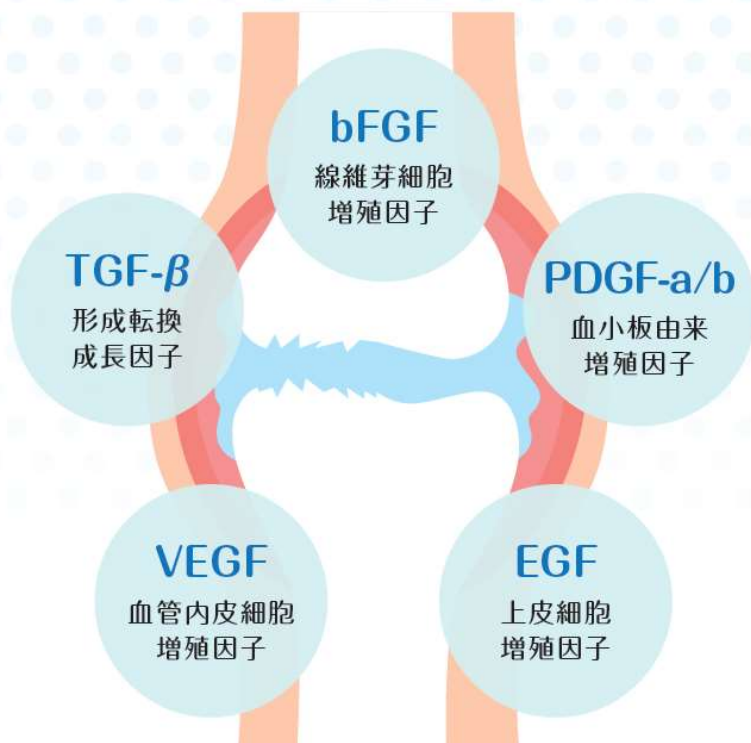


痛い！

血小板は体に傷ができて出血したときに止血する作用を持っていますが、その他に壊れた組織を修復する際などに必要な**成長因子**(新しい血管を誘導したり、細胞を増殖させて新たな組織を作る作用を有します)を多く含んでいます。

—— 成長因子の投与で期待できる効果 ——

血小板に含まれる成長因子



血小板由来の成長因子は、傷の修復に不可欠です。これらの成長因子を特殊な技術で濃縮して関節内に注射することで、痛みを和らげたり、損傷部位の修復が期待できます¹⁾。

成長因子の働き

1 抗炎症作用²⁾

血液中の血小板内には、炎症を抑える働きなどを持つ成長因子が含まれています。

2 修復促進²⁾

血小板に含まれる成長因子は、自己修復に必要な細胞増殖を促進させます。

3 コラーゲン産生を促進³⁾

血小板に含まれる成長因子による線維芽細胞の増殖は、骨や血管を作るために欠かせないコラーゲンの産生を促します。

近年、従来行われてきたPRP療法より**約2倍**の成長因子を抽出できる技術が確立され、さらに白血球などの炎症を引き起こす細胞等を除去して治療に用いる方法ができました(無細胞PRP-FD: サイトカイン療法)。これによって、治療直後のはれや痛みが従来より軽減することが期待されます。



当院では、変形性膝関節症の患者さん等を対象に、この無細胞PRP-FDによる治療を行っています。従来行われてきた保存療法(消炎鎮痛剤の内服やヒアルロン酸の関節内注射)と手術療法(人工関節置換術や骨切り術など)の間の治療法として位置づけられます。手術を行うほどではないが痛みが持続する、手術療法の適応はあるが社会的事情で入院できないといった方には検討頂く価値があると考えます。

PRP-FD療法には健康保険は使えません。

また、患者さんの状態によってPRP-FD療法が適応にならない場合もあります。

費用: 1回 150,000円(税別) 詳細は整形外科 担当医におたずねください。